

6月8日(金) 名鉄岡崎公園前、出発集会 35人。歩道を 2.1Km 岡崎市役所、
10:10 昼食と交流会、行進して東岡崎へ 名鉄で長沢駅 13:30 着、
3:45 出発 行進 3.5Km,名鉄赤坂駅到着

昼食と交流会での発言メモ

司会:山森氏

岡崎支部長 23年前結成、35人でスタート。今481人で最大。明日支部総会、早期に500人にしたい、そして早く1%650人を目指す。

安城支部森下支部長 人口38万人、組合員30人少し、私の地域とのつながりが弱かったので、年金者組合に入った。県本部から檄が飛んでくるが、頭を低くして、頭上を通り過ぎるようにしている。

同支部 太田さん、歩くの大好き、25日間で京都 東京を歩いたことがある。支部長は苦労されて、体重も随分やせてきた、申し訳ないと思っている。岡崎と安城とでは大きな壁があるががんばる。

知立支部、COさん, 医生協の役員をやっているが、そこでもどうしたら輝いて生きれるのか、なかなか話題にならない。老いてなお輝いて生きたい。歩くことで輝く、心も輝いてくるように思う。

岡崎 71歳男、15年間ほど毎日1.5時間ほど歩いている。とても健康に良い。この前、調べると体力年齢57歳という結果だった。みんな歩きましょう。

岡崎 大田さん、女性が代わらないと世の中変わらないと思っている。女性よ頑張ろうと呼びかけ続けたい。

岡崎 山本氏、私はポンポン菓子づくりをやっている。露天商の来ない小さなお祭りとか保育所など出かけていく。この前、3.11集会でやったが、準備したお米は早く売れてしまった。この活動はお米を紹介する活動だと思っている。是非、呼んでください。

行進参加者の一言

今日は行進3日目、浜松まで行こうと思っている。神奈川が1%やり、和歌山が達成しようとしている。その次は、大阪と愛知だと思う。大阪には負けるかも知れないが、あるいは同時かも知れない。頑張る。世代間格差をあまり、高齢者に悪罵を投げつける時代。ひるんで入れない。行進大賛成だ、熱烈な声援を送っている。 茶谷副委員長

紺原(兵庫) 書記から、あんた足大丈夫か、と聞かれ、足には自信があります。という、そんなら行進に参加してくれと、いくらか負担せんならんと思っていたら、ただだと、それなら参加しますとすぐ喜んで返事しました。長距離トラックの運転手として、よく通ったので、懐かしく感じています。

越堂(大阪) 2年前、大阪 東京 一人で歩いた。又いってみたいと思っていたら、企画がある、どうかと聞かれ、二つ返事でOK。永井さんの言う意義など知らなかった。あの時、ここにきたら

家康祭りしていたのを思い出した。

深谷(和歌山書記長) 近畿ブロックで1月に決めて、持ち帰ったとき、あほなことを決めたんやなあと言われた。参加者、なかなか名乗り出してくれず、高垣さんが手を挙げてくれたときホッとした。彼は百章をしているので、4日間農作業しに買えらにゃならんので、ピンチヒッターとして責任取ることに。和歌山は、3支部が1%に到達、どうしても1%はやりたい。すでに祝賀会の会場をおさえている。・・・この場にも中央篠塚さんから電話、・・・

今行進中やと言うたれ! と私(永井氏)

竹内(京都) 名前はと賢治と宮沢賢治と同じだが、仮とは逆で雨のも負け風にも、夏の暑さにも負けている。3年前に山歩きの会をつくって、お世話してきたおかげで、膝も治った。粘菌者組合は新参加だが、費用負担なく、飲み代だけ準備すれば、ええといわれ気軽に参加した。だけど重い要求を背負って歩いているので、命がけで行進する値打ちはある。

県庁・市役所要請

6/7 愛知県庁、名古屋市役所への要請団の一員として、竹内、安田、越堂が、通し行進者を代表して参加した。

県庁では、秘書課の担当者が対応したが、忙しく入り口でたったままで話す事になりました。要請書は先にわたされており、担当者に大阪からの行進のニュースのコピーを渡して、状況説明も行い要請した。

市役所は市議会議長への要請で、議会事務局主幹が対応してくれました。県庁同様、行進の状況も説明して、議長への要請書を手渡しました。「暑いし、長い道中なので、体に十分気お付けて、行進してください。」との返事でした。

京都民報が報道、八幡市、京都市内を320人で行進、1日の伏見港公園の集会で「闘いの輪を広げに広げて、一体改革を止めさせよう」と吉田書記長の訴えを紹介しています。

中日新聞が報道、150人か名古屋(栄)市内を行進、永井団長の「通行人にもはげませぬ。関心の高さを感じる。最後までやりとげたい。」のコメントを載せています。

赤旗(東海版)が大きく報道 「一体改革」廃案必ず、「かがやけ命の行進」名古屋で歓迎集会の記事を5段抜き、写真入で報道。茶谷副委員長が、「野田首相は二大政党による談合を直ちに止め、国民に信を問うべきです」と語っています。

以上